

# 令和7年度 学校経営方針

北海道帯広緑陽高等学校長

## 【基本方針】

確かな学力(知)、豊かな心(徳)、健やかなからだ(体)に支えられた生徒の「生きる力」を育むため、学校教育の充実を図り、将来を逞しく主体的に生きていく「人間力」を備えた人づくりに向けて、社会人基礎力を育む文武両道の学校づくりに努める。

校訓	正義 友愛 前進		
学校教育目標	「自ら正義を貫き、友愛の精神で協力し、限りなく前進する生徒を育てる」		
スクール・ミッション	○ 社会人としての基本的な資質を身に付け、地域の課題に対して主体的に考え、取り組むなど、自ら課題解決していく生徒の育成 ○ 変化する社会に対応するため、幅広い知識と教養を身に付け、他者と協働して課題解決を図ろうとする生徒の育成		
スクール・ポリシー	グラデュエーション・ポリシー 育成を目指す資質・能力に関する方針  ① 実社会を逞しく生き抜く力と生涯学び続ける力を高め、持続可能な共生社会を創造する自立した社会人 ② 職場や地域社会において、多様な考えを持つ人々と協働して、仕事ができる社会人	カリキュラム・ポリシー 教育課程の編成及び実施に関する方針  ① 生徒の興味・関心・特性及び進路希望を的確に把握し、学習意欲の喚起と学力向上を図り、自己実現を支援する ② 全教科で主体的・対話的で深い学びを実践し、教育機関や地域社会と連携したキャリア教育を推進する	アドミッション・ポリシー 入学者の受け入れに関する方針  ① 学業優秀で、入学後も資格検定取得に意欲的に取り組み、学業分野において高い目標を掲げ、リーダーシップを発揮できる生徒 ② 学業との両立を図り、入学後も継続して当該部活動や特別活動（生徒会活動）に意欲的に取り組み、その秀でた分野での能力向上に努め、リーダーシップを発揮できる生徒

## 【経営方針】

- 危機管理への対応を確実に施し、生徒の安全・安心を第一に「社会人基礎力」の向上に資する教育を推進する。
- 一人ひとりの生徒を大切に、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育を推進する。
- カリキュラム・マネジメントを推進し「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業及び評価方法の改善を図る。
- 働き方改革の視点を盛り込んだ時間外勤務の縮減を推進する。
- 学校力の強化に向け、「対話と協働」による執務体制を確立し、常に実施内容の点検及び改善を推進する。
- 教職員の健康増進と服務規律の保持に努め、健全で活気に満ちた職場づくりを推進する。

## 【重点事項】

重点目標	1 主体性を持ち、目標に向かって多様な人々と協働して取り組む態度を育成する。 2 基礎的・基本的な知識や技能を習得し、自ら考え、判断し、表現する力を育成する。 3 自らを律しつつ、他者とともに協調し、他者を思いやる心や感動する心を育成する。 4 自他の人権や生命を尊重し、たくましく生きようとする健全な心身を育成する。
学習指導	1 カリキュラム・マネジメントを推進し、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善と観点別評価の工夫を図る。 2 基礎・基本の知識や技能の定着を図り、「読解力の育成」を目指した指導計画の工夫・改善を進める。 3 特別活動や総合的な探究の時間の指導計画を充実させ、「自ら学び探究する姿勢」と「考え抜く力」を育成する。 4 探究活動における成果物の評価方法を明確にし、継続的な学びを支援する。
生徒指導	1 「傾聴」する姿勢と生徒理解に努め、自律を促す「個に応じた指導（相談体制の充実、支援体制の工夫）」を推進する 2 人としての「在り方・生き方」を考えさせ、心の育成指導を推進する。 3 基本的生活習慣を確立できるよう支援し、「いじめ・悩み等の早期発見・解消」に努め、迅速に課題解決を図る。 4 主体的な活動を重視し、「リーダーの育成」を図りながら、HR・生徒活動・部活動の充実を推進する。
進路指導	1 主体的に自らの生き方を考え、将来を見据えた「進路目標」を設定し、目標実現に向かって真摯に取り組む態度を育成する。 2 3年間を見据えた探究活動を実施し、思考力・判断力・表現力を高め、問題解決能力を育成する。 3 大学や地域企業などと連携を図り、キャリア教育を推進し、基礎的・汎用的能力を育成する。 4 探究活動やキャリア教育を通して、「前向きな力」・「考え抜く力」・「チームで取り組む力」などの社会人基礎力を育成する。
健康安全	1 保健だよりや関係資料等の活用及び個別相談の充実により、健康に係わる意識の向上を図る。 2 体調の変化に対し自らの生活を振り返り、自己管理の姿勢を身に付けさせる。 3 外部機関と連携し、防災・防犯・交通安全等の講話を通じて、生活安全に係わる指導の工夫と充実を図る。